

■家庭でできる早期発見（舌うちテスト）

生まれてから10日以上たってから行います。

〈方法〉赤ちゃんが、眠くなって眼を閉ざしてすぐ（2～3秒後）に耳元から50cmくらいはなれて、舌うち音をチッ、チッ、チッ…と2～3秒間（8～12回）くらいならしめます。耳が聞こえていると眼をゆっくり開くか、まれには閉じている眼を更に強く閉じます。
（深く眠っているときは反応しないので、注意してください。）

*この方法は、左右別々にできます。

*1回だけでは、はっきりわからないこともありますので
何度もやってみてください。



この舌うちテストで中等度及び重度の難聴を発見できることがあります。

■家庭での音に対する反応

2カ月児	眠っていて急に鋭い音がすると、ビクッと手足を動かしたりまばたきする。
	眠っていて子どもの騒ぐ声や、くしゃみ、時計の音、掃除機などの音に眼をさます。 話しかけると、アーとかウーと声をだして喜ぶ。（または、にこにこする。）
3カ月児	眠っていて突然音がすると、まぶたをピクッとさせたり指を動かすが、全身がピクッとなることはほとんどない。
	ラジオの音、テレビのスイッチの音、コマーシャルなどに顔（または眼）を向けることがある。 怒った声や優しい声、歌、音楽などに不安そうな表情をする。
4カ月児	日常のいろいろな音（玩具・テレビの音・楽器音・戸の開閉など）に関心をしめず。（振り向く）
	名を呼ぶとゆっくりではあるが振り向く。 不意の音や聞き慣れない音、珍しい音にははっきり顔を向ける。
5カ月児	耳元に目覚まし時計を近づけるとコチコチという音に振り向く。
	父母や人の声、録音された自分の声など、よく聞き分ける。 突然の大きな音や声にびっくりしてしがみついたり、なきだしたりする。